

藤井寺市大和川下流東部流域関連公共下水道事業計画書

流域関連公共下水道管理者	藤井寺市
工事着手の年月日	昭和48年1月18日 平成31年3月31日
工事完成の予定年月日	平成36年3月31日

(第1表-1)

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
処理分区の面積	643.00ヘクタール		処理区域内の地名	大阪府藤井寺市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
処理分区の名称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道との接続箇所の番号	流域下水道との接続箇所の位置	接続する流域下水道の幹線名	摘要
1-1 分区	17.35	1-1	西大井一丁目	石川左岸幹線	
1-2 分区	2.05	1-2	大井二丁目	石川左岸幹線	
1-3 分区	18.44	1-3	大井二丁目	石川左岸幹線	
1-4 分区	6.75	1-4	大井三丁目	石川左岸幹線	
1-5 分区	9.94	1-5	大井三丁目	石川左岸幹線	
1-6 分区	37.71	1-6	大井三丁目	石川左岸幹線	
1-7 分区	13.37	1-7	惣社一丁目	石川左岸幹線	
1-8 分区	48.20	1-8	惣社一丁目	石川左岸幹線	

二段書きの場合、上段-変更前、下段-変更後

処理分区の 名 称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道 との接続箇 所の番号	流域下水道と の接続箇所の 位置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
1-11 分区	5.90	1-11	道明寺二丁目	石川左岸幹線	
1-12 分区	15.31	1-12	道明寺二丁目	石川左岸幹線	
1-19 分区	0.70	1-19	羽曳野市 白鳥二丁目	石川左岸幹線	
2-1 分区	2.60	2-1	大井一丁目	御陵西幹線	
2-2 分区	7.37	2-2	大井一丁目	御陵西幹線	
2-3 分区	111.06	2-3	林二丁目	御陵西幹線	
2-4 分区	6.67	2-4	林二丁目	御陵西幹線	
2-5 分区	114.42	2-5	沢田二丁目	御陵西幹線	
2-6 分区	16.86	2-6	沢田二丁目	御陵西幹線	

二段書きの場合、上段-変更前、下段-変更後

処理分区の 名 称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道 との接続箇 所の番号	流域下水道と の接続箇所の 位置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
2-7 分区	21.41	2-7	古室三丁目	御陵西幹線	
2-8 分区	30.32	2-8	古室三丁目	御陵西幹線	
2-9 分区	34.02	2-9	羽曳野市 誉田五丁目	御陵西幹線	
2-10 分区	18.80	2-10	羽曳野市 誉田五丁目	御陵西幹線	
2-11-1 分区	0.72	2-11-1	野中五丁目	御陵西幹線	
2-11-2 分区	16.84 14.30	2-11-2	野中五丁目	御陵西幹線	
2-11-3 分区	15.38 13.79	2-11-3	野中五丁目	御陵西幹線	
2-11-4 分区	1.97 3.56	2-11-4	野中五丁目	御陵西幹線	
2-12 分区	1.97	2-11-4	羽曳野市 軽里三丁目	御陵西幹線	
3-1-1 分区	23.04	3-1-1	国府二丁目	石川右岸 1 幹線	
3-1-2 分区	45.80	3-1-2	国府二丁目	石川右岸 1 幹線	

二段書きの場合、上段-変更前、下段-変更後

(第1表-2)

予定排水区域及び放流箇所調書					
排水区域の面積	368.03ヘクタール		処理区域内の地名	大阪府藤井寺市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
排水区の名 称	面積 (単位：ヘクタール)	放流箇所の 番 号	放流箇所の 位 置	接続する流域下 水道の幹線名	摘 要
北條第1排水区	104.84	1	北 條 町	大和川	
北條第2排水区	27.00	2	大井三丁目	落堀川	
小山排水区	185.99	3	小山七丁目	大和川	
古室第2排水区	6.70	4	古室二丁目	大水川	
藤井寺排水区	41.30	5	小山三丁目	(西水川)	今池処理区へ流入
道明寺排水区	2.20	6	羽 曳 野 市	(石川)	今池処理区へ流入

(第2表)

吐 口 調 書						
排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号 又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量	放流先の名 称	摘 要
北條第1 排水区	ポンプ施設	1	藤井寺市 北條町	11.689 m ³ /秒	大和川	北條雨水ポンプ場
北條第2 排水区	分流式 雨水管渠	2	藤井寺市 大井三丁目	3.383 m ³ /秒	落堀川	
小山排水区	ポンプ施設	3	藤井寺市 小山七丁目	14.1695 m ³ /秒	大和川	小山雨水ポンプ場
古室第2 排水区	分流式 雨水管渠	4	藤井寺市 小室二丁目	0.9046 m ³ /秒	大水川	
藤井寺排水区	分流式 雨水管渠	5	藤井寺市 小山一丁目	(3.2063) m ³ /秒	(西水川)	今池処理区を經由
道明寺排水区	ポンプ施設	6	藤井寺市 道明寺四丁目	(0.3730) m ³ /秒	(石川)	羽曳野市流域関連 公共下水道を經由

(第3表-1)

管 渠 調 書 (汚 水)				
処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
1-18 分区	○ 800～ ○ 400	550		
2-3 分区	○ 800～ ○ 400	1,690		
2-5 分区	○ 700～ ○ 350	1,530		
2-9 分区	○ 600～ ○ 400	990		
3-1-2 分区	○ 500～ ○ 400	690		
計		5,450		

(第3表-2)

管 渠 調 書 (雨 水)				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所の数	摘 要
小山排水区	○ 2,000×2	30		
	□ 1,200×1,000 ~ □ 3,000×1,000	570		
	└ 1,400×1,100 ~ └ 4,000×2,600	2,870		
	小計	3,470		
藤井寺排水区	□ 1,800×1,800	260		
	└ 3,300×3,050 ~ └ 2,900×2,600	1,210		
	小計	1,470		
北条第1排水区	□ 2,200×2,200 ~ □ 1,700×1,200	1,150		
	└ 2,350×1,400 ~ └ 1,100×1,100	1,700		
	▽ 1,100-900×1,100 ~ ▽ 1,100-800×1,200	160		
	∨ 2,500-1,800×1,200	50		
	小計	3,060		
北条第2排水区	└ 1,600×1,400	90		
	∨ 3,000-1,000×2,500 ~ ∨ 2,700-1,500×1,000	840		
	小計	930		
計		8,930		

(第4表)

ポンプ施設調書							
ポンプ施設 の名称	排水区 の名称	ポンプ施設 の位置	敷地面積 (単位 7-ル)	1分間の揚水量 (m ³ /分)		摘 要	
				晴天時最大	雨天時最大		
小山雨水 ポンプ場	小山 排水区	藤井寺市 小山七丁目	57.1		1,129	排水ポンプ場	
北條雨水 ポンプ場	北條第1 排水区	藤井寺市 北條町	27.6		702	排水ポンプ場	
ポンプ施設の敷地内の主要な施設							
ポンプ施設 の名称	主要な施設の 名称	数	構 造	能 力		摘要	
小山雨水 ポンプ場	沈砂池	4池	構造 鉄筋コンクリート造り	滞留時間 0.55分			
			形状 矩形	水面積負荷 5,810m ³ /m ² 日			
				寸法 幅5.00m×14.00m× 深2.20m			
				容量 154m ³ /池			
	粗目スクリーン	4台	型式 ロープ式台車型除塵機	掻揚げ量 3.0m ³ /時			
			間隔 150mm				
	細目スクリーン	4台	形状 自動除塵機	掻揚げ量 3.8m ³ /時			
			間隔 50mm				
ポンプ設備		1台	型式 立軸斜流ポンプ				
			口径 600mm				
			揚水量 46m ³ /分×1台				
			揚程 5.9m				
			動力 75kw				
			駆動 モーター掛				
		3台	型式 立軸斜流ポンプ				
			口径 1,650mm				
			揚水量 361m ³ /分×3台				
			揚程 5.4m				
			動力 650PS				
			駆動 ディーゼルエンジン				
ポンプ室	1棟		構造 鉄筋コンクリート造り (一部鉄骨鉄筋コンクリート)	電気室、操作室 1式 電気、補機設備 1式			
調圧水槽	1式		構造 鉄筋コンクリート造り				
放流管渠	1式		構造 鉄筋コンクリート造り				
			形状 矩形暗渠				
			断面 幅3,600×長2,000 ×2連				

ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要
北條雨水ポンプ場	沈砂池	2池	構造 鉄筋コンクリート造り 形状 矩形 寸法 幅5.00m×21.00m× 深2.20m 容量 210m ³ /池	滞留時間 0.60分 水面積負荷 4,809m ³ /m ² 日	
	粗目スクリーン	2台	型式 自動除塵機 間隔 150mm	掻揚げ量 3.0立米	
	細目スクリーン	2台	形状 自動除塵機 間隔 50mm	掻揚げ量 3.8m ³ /時	
	ポンプ設備	3台	型式 立軸斜流ポンプ 口径 1,350mm 揚水量 234m ³ /分×3台 揚程 8.0m 動力 700PS 駆動 ディーゼルエンジン		
	ポンプ室	1棟	構造 鉄筋コンクリート造り (一部鉄骨鉄筋コンクリート)	電気室、操作室 1式 電気、補機設備 1式	
	調圧水槽	1式	構造 鉄筋コンクリート造り		
	放流管渠	1式	構造 鉄筋コンクリート造り 形状 矩形暗渠 断面 幅2,500×長2,500 ×1連		

・その他の書類

(様式1) 施設の設置に関する方針

主要な施策 <small>(事業計画に基づき今後実施する予定の事業に関連するものを記載)</small>	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考
	指標等	現在 (平成29年度末)	中期目標 (平成37年度末)	長期目標			
汚水処理	下水道処理人口普及率	78.3%	83%	100%	人口密度の高い地区から優先的に整備を実施する。	事業を行う処理分区名 【大井処理区】1-1、1-2、1-3、1-4、1-5、1-6、1-7、1-8、1-9、1-11、1-12、1-19、2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6、2-7、2-8、2-9、2-10、2-11-1、2-11-2、2-11-3、2-12、3-1-1、3-1-2 【今池処理区】1-22	
浸水対策	都市浸水対策達成率	整備目標 I、II 48.4mm/h III 54.4mm/h [一般地区]	10% (76ha)	10% (77ha)	100% (779ha)	浸水常襲地区の整備を引き続き施行する。 ア. 京樋雨水幹線整備事業 (大井処理区) イ. 西水路雨水幹線整備事業 (今池処理区)	I. 大井処理区 II. 今池処理区 III. 川俣処理区

3. 施設の機能の維持に関する方針（様式 2）

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	法に定めのある腐食のおそれの大きい箇所については概ね 5 年に一度、それ以外については概ね 20 年に一度点検を実施。 点検で異常を確認した場合には、調査を実施。
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	概ね 10 年に一度の分解調査を実施。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	<p>■改築の判断基準</p> <p>本管緊急度Ⅰ+緊急度Ⅱの内重要路線、破損、継手ズレが確認された管</p> <p>マンホール 緊急度Ⅰ</p> <p>マンホール蓋 緊急度Ⅰ</p> <p>■修繕の判断基準</p> <p>本管 改築対象から外された不具合のある管</p> <p>マンホール 改築対象から外された不具合のあるマンホール</p> <p>マンホール蓋 不具合が確認されたマンホール蓋</p> <p>マンホールポンプ施設 点検により不具合が発生した機器</p>
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度 2 以下に該当する設備を修繕・改築対象とする。

iii) 改築事業の概要（平成 30 年度～平成 35 年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	該当無し
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	平成 30 年度に策定予定のストックマネジメント計画に基づき点検・調査を行い改築更新を実施予定。

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
年当たり 概ね 5.3 億円	概ね 100 年後	<p>管路施設の目標耐用年数を 75 年に設定。</p> <p>ポンプ施設の目標耐用年数は以下のとおりとする</p> <p>電気設備は、標準耐用年数の 1.0～1.5 倍とする。</p> <p>機械設備は、標準耐用年数の 1.8～2.5 倍とする。</p> <p>「藤井寺市下水道ストックマネジメント基本計画 平成 29 年度」</p> <p>・長期的な改築事業設定より。</p>

注：上記は市全域での方針である。

(様式3)

「VI. 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源に示す。」

イ. 経費の部

藤井寺市全体

(単位：百万円)

年度	イ. 経費の部											合計
	建設改良費						起債元利償還費	維持管理費			その他	
	管渠	ポンプ場	処理場	建設費負担金	計	うち用地費		維持管理費	管理運営費負担金	計		
平成30年度	1,364	-	-	18	1,382	-	1,990	123	271	394	-	3,766
平成31年度	1,348	-	-	24	1,372	-	1,980	173	280	453	-	3,805
平成32年度	1,348	-	-	12	1,360	-	1,912	173	289	462	-	3,734
平成33年度	1,348	-	-	12	1,360	-	1,912	173	289	462	-	3,734
平成34年度	1,348	-	-	12	1,360	-	1,912	173	289	462	-	3,734
平成35年度	1,348	-	-	12	1,360	-	1,912	173	289	462	-	3,734
合計	8,104	-	-	90	8,194	-	11,618	988	1,707	2,695	-	22,507

記載要領

1. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

ロ. 財源の部

藤井寺市全体

(単位：百万円)

年度	ロ. 財源の部											合計
	建設改良費						維持管理費及び起債元利償還費					
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	その他	計	下水道使用料※	他会計繰入金	その他	計		
平成30年度	387	962	20	13	-	1,382	695	1,689	-	2,384	3,766	
平成31年度	395	944	20	13	-	1,372	697	1,736	-	2,433	3,805	
平成32年度	395	932	20	13	-	1,360	698	1,676	-	2,374	3,734	
平成33年度	395	932	20	13	-	1,360	698	1,676	-	2,374	3,734	
平成34年度	395	932	20	13	-	1,360	698	1,676	-	2,374	3,734	
平成35年度	395	932	20	13	-	1,360	698	1,676	-	2,374	3,734	
合計	2,362	5,634	120	78	-	8,194	4,184	10,129	-	14,313	22,507	
下水道使用料※関連資料	接続率：90.2%（H30年度末）→91.0%（H35年度）今池、大井、川俣各処理区での接続率											
	講じる対策 未接続世帯への戸別の啓発											
	有収率：94%（H30年度末）→95%（H35年度）市全体 各処理区での有収率 大井：96% 今池：92% 川俣：60%											
	講じる対策 老朽管路の長寿命化対策や排水設備の誤接解消のための啓発等の不明水対策により地下水や雨水流入を減らし、有収率の向上を図る。 その他の講じる対策 公共下水道施設・設備の計画的、効率的な管理体制を図り、適正で効率的な公共下水道事業の運営を図る。											

記載要領

1. 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。
2. 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。
3. 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保障・人口問題研究所等による人口・世帯数の見直し、企業立地の見直し等を踏まえた上で算定すること。
4. 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン（平成26年6月、国土交通省・（公社）日本下水道協会）」等も必要に応じ参照すること。
5. 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」の欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組みについて記載する。